

# 質 疑 回 答 書

令和3年7月27日

工事名称：北海道国立大学機構本部庁舎新営その他工事

番号	質 疑	回 答
1	【増築棟】 参考数量P5の隔て板 端部見切縁ナラ集成材W=100 9.8m とありますが、施工箇所はWC内洗面化粧台横の袖壁と考えて宜しいでしょうか。	A：宜しいです。
2	【増築棟】 参考数量P5の隔て板 端部見切縁ナラ集成材W=150 10.4m とありますが、施工箇所は役員室 (1) (2) (3) 監事室・事務局長室の洗面化粧台横の袖壁と考えて宜しいでしょうか。	A：宜しいです。
3	【増築棟】 MWC・WWC入口に見切縁があると思われま。ナラ集成材W=150 と考えて宜しいでしょうか。	A：鋼製三方枠 W800xH2,400 見付寸法：25 見込寸法：10+壁厚+10 SOP塗装として下さい。
4	【増築棟】 2階給湯室入口の建具が不明です。ステンレス製三方枠 (850 ×2000) と考えて宜しいでしょうか。	A：鋼製三方枠 W800xH2,000 見付寸法：25 見込寸法：10+壁厚+10 SOP塗装として下さい。
5	【増築棟】 WC手洗いカウンター天板について (増A-024) 家具詳細図4はマーベリイナカウンター、参考数量P13ではメラミンポストフォームカウンターと相違しております。参考数量のメラミンポストフォームカウンターを正と考えて宜しいでしょうか。	A：宜しいです。
6	【増築棟】 屋上改質アスファルトシート防水について (共A-004) 特記仕様書 (4) はAS-T2・AS-T4、参考数量P3ではAS-T1カラーと相違しております。参考数量のAS-T1カラーと考えて宜しいでしょうか。	A：AS-T2カラーとして下さい。
7	【増築棟】 1階玄関ホールの床見切縁について (増A-006) 1階平面詳細図はSUS製への字W35、参考数量P6ではSUS製FB-5×12と相違しております。参考数量のSUS製FB-5×12と考えて宜しいでしょうか。	A：宜しいです。

工事名称：北海道国立大学機構本部庁舎新営その他工事

番号	質 疑	回 答
8	<p>図面番号：共A-009 増A-010</p> <p>天井点検口について（共A-009）特記仕様書（9）、参考数量P6は450角となっておりますが、（増A-010）天井伏図では600角と相違しております。特記仕様書（9）、参考数量の450角と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>A：宜しいです。</p>
9	<p>図面番号：改S-003 改S-007</p> <p>新設壁W15について詳細図がございません。（改S-003）耐震補強材接合標準図のRC壁接合標準図では接着系アンカー筋の直径D16以上となっておりますが、アンカー筋の径の御指し願います。</p>	<p>A：改S-013図を参照下さい。 アンカー筋について、接着系アンカー 1-D16 @200として下さい。</p>
10	<p>図面番号：改S-003 改S-008</p> <p>新設壁EW15について詳細図がございません。（改S-003）耐震補強材接合標準図のRC壁接合標準図では接着系アンカー筋の直径D16以上となっておりますが、アンカー筋の径の御指し願います。</p>	<p>A：改S-014図を参照下さい。 アンカー筋について、接着系アンカー 1-D19 @200として下さい。</p>
11	<p>図面番号：改S-002 改S-003</p> <p>あと施工アンカー工事について（改S-002）共通仕様書（2）に接着系アンカー無機系とありますが、（改S-003）耐震補強材接合標準図では樹脂接着系アンカーと相違しております。共通仕様書（2）の接着系アンカー無機系と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>A：樹脂接着系アンカー（有機系）として下さい。</p>
12	<p>図面番号：改S-003 改S-013</p> <p>スパイラル筋について（改S-003）耐震補強材接合標準図は壁厚150で80φ、（改S-013）雑補強図では壁厚150で70φと相違しております。耐震補強材接合標準図の80φと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>A：宜しいです。</p>
13	<p>図面番号：改S-002</p> <p>材料で接着系アンカーは無機系となっておりますが、改S-003図RC壁接合部標準図では有機系となっております。どちらが正でしょうか。御指し願います。</p>	<p>A：有機系として下さい。</p>

工事名称：北海道国立大学機構本部庁舎新営その他工事

番号	質 疑	回 答
14	<p>函面番号：改S-007</p> <p>Y1、X5-6の新設壁W15の詳細が不明です。改S-003図のRC壁接合部標準図では樹脂接着系アンカー系はD16以上となっております。アンカー系を含め詳細を御指示願います。</p>	<p>A：改S-013図を参照下さい。 アンカー筋について、接着系アンカー 1-D16 @200として下さい。</p>
15	<p>函面番号：改S-003</p> <p>スパイラル筋の経ですが、改S-003図では壁厚150の場合80となっておりますが、改S-013図では70となっております。どちらが正でしょうか。御指示願います。</p>	<p>A：80φとして下さい。</p>
16	<p>函面番号：改A-004,005,006,031,032,033,034</p> <p>改修棟の建具工事で撤去、新設で別途工事とありますが、本工事に含まれないと考えて宜しいでしょうか。また、新規・撤去共、硝子、付枠、外部シーリング等も別途と考えて宜しいでしょうか。御指示願います。</p>	<p>A：宜しいです。</p> <p>また、付枠の撤去・新設 及び 建具廻り外部シーリングの撤去・新設は本工事とし、別途工事表示既設建具のガラス交換は本工事に含みません。</p>